

クラスメートの女の子の
ふんどし姿を見ちゃった話

ねえ鳥枝さん

今日鳥枝さんの実家の神社で
お祭りがあるって本当？

え…

……

お祭りっていつか
ただの神事なんだけど…

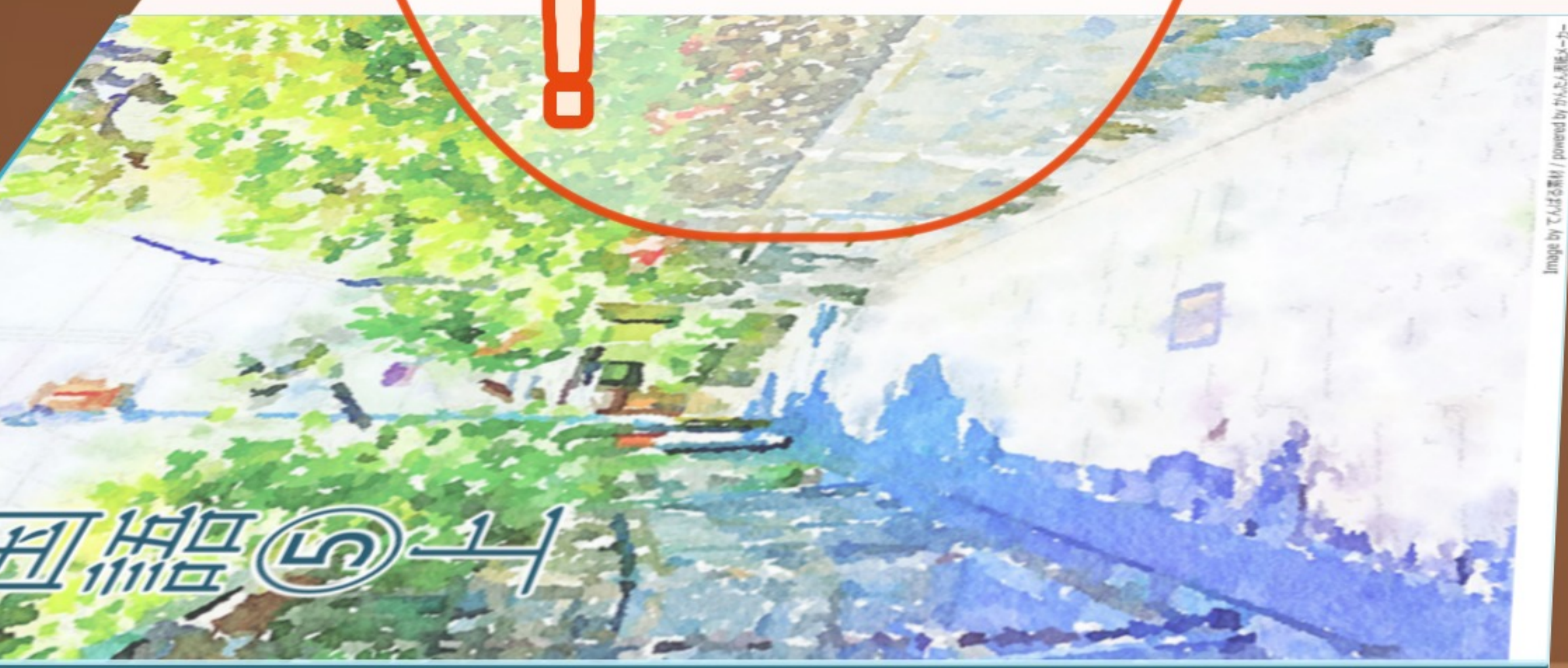
のちのち



え!?

「、来なくていいよ。
つまんないよ。
屋台とか出ないっ—」

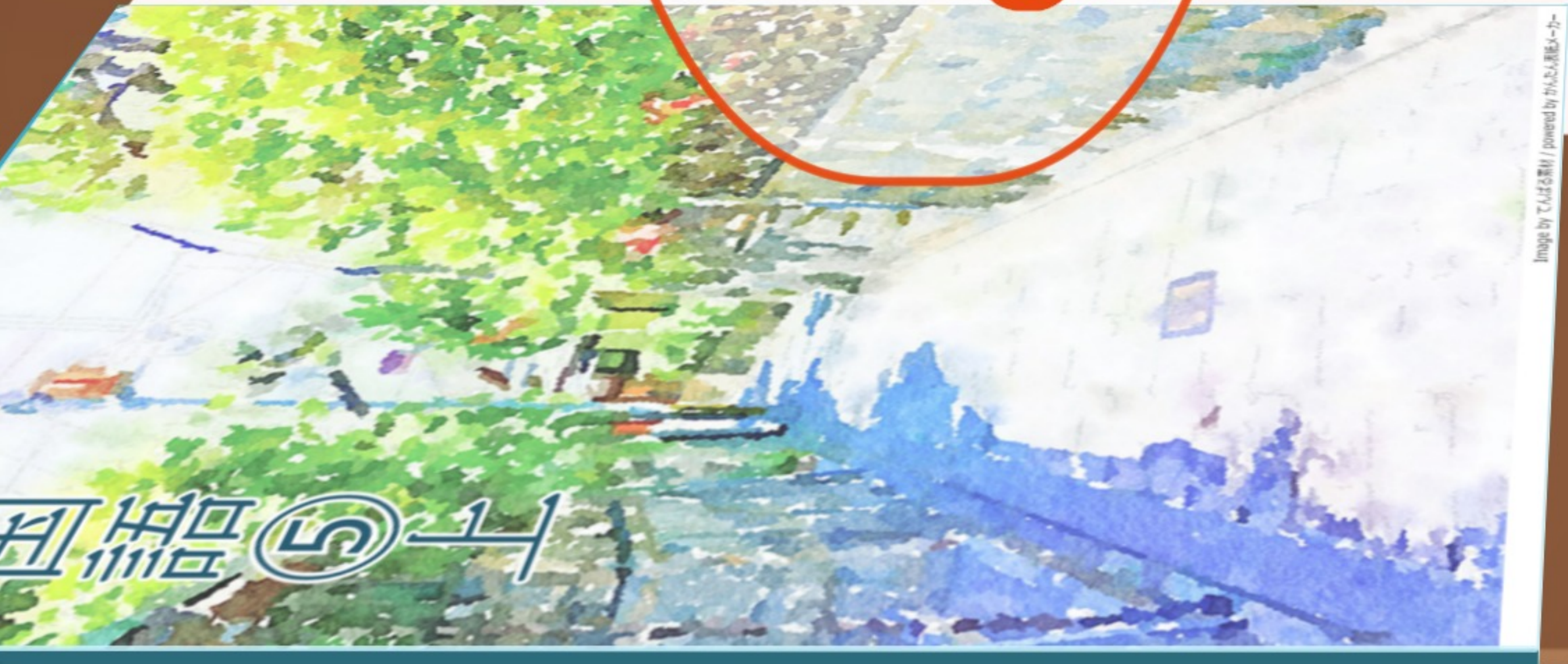
作ってあげよう!?!
フワフワ




4-1 © 2011

……おめ……

たぶん君が思ってるような
楽しいお祭りじゃないよ……





でも気になったしヒマだから
こっそり神社まで来てみたら…

え？

はだかの女の子がおぶっしてる!?

あれ…よく見たら
あのキッてもしかなって!?



なっ

なんで来てるの!?

は...?

と、鳥枝さん? 鳥枝さんだよね!?



なんでそんな格好してるの!?

えっ、これは…

あのね聞いて

えっとね


これは豊穣を祈る伝統的な儀式で
私は神社の当代の「ごども巫女で…

そ、そのっ

あ〜もうっ!!

いま奉納の舞の最中だから!
君はそこでだまって見てて!





そのあとぼくは鳥枝さんのはだかのおどりを一番近くでながめつづけた

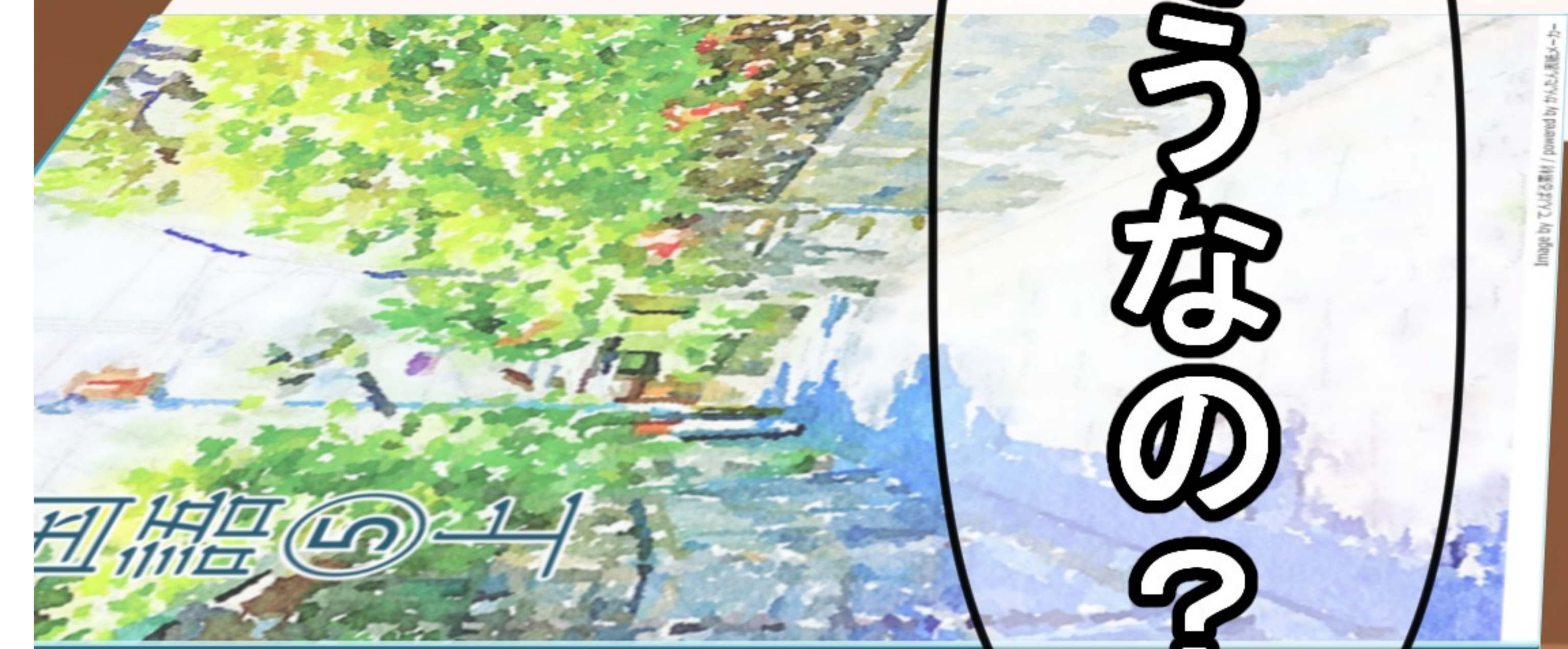
なんだかおなかのおく底がジワジワっと熱くなるような、不思議な心地になるような、夏の終わりの出来事だった…

終

- 翌週 -

「応言つとくけど、
私がああいう格好するの
今年で終わりだからね…」

そっちなのか？



© 2014 4月 11日



た、た、たさん...
じゃあね





- 人物紹介 -

鳥枝 伊那穂 (とりえだ いなほ)

5年3組のクラスメート。気が強く、物怖じしない性格。
舞穂楽神社当代のこども巫女を務めているが、
実家が神社なのは秘密にしておりあまり知られていない。

こども巫女

神主の近親者が代々務め、毎年夏～秋にかけてとり行われる
豊穰の祭りにおいて重要な役割を担う神職。
こども巫女が務まるのは5歳～初経を迎えるまでとされており、
それ以降は大人のなかまいりとし一般的な巫女装束を着用する。
昔は巫女による奉納の舞とともに
地域のこどもたちが集まって相撲をとり、豊穰の神に捧げていた。
こども巫女がふんどし姿なのはその時代の名残らしい。
現代では少子化にともない相撲大会はなくなっている。

なお神事は撮影禁止・携帯機器の持ち込み禁止である。